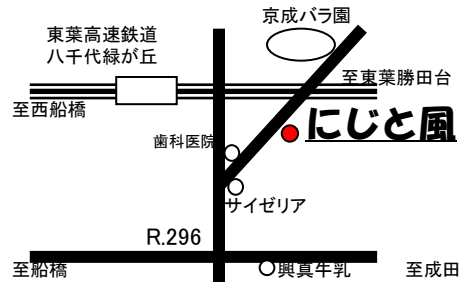


にじと風だより

発行 特定非営利活動法人にじと風福祉会
〒276-0046 千葉県八千代市大和田新田453-126
TEL 047-480-0801 FAX 047-480-0807
発行人 吉野眞里子/yosino@asahi-net.email.ne.jp



秋明菊も咲き散り、さざんかの赤がとても目に鮮やかな今日この頃です。

11月に入り、もう秋もわずかになりました。短い夏も終わり、秋も駆け足で過ぎていきそうです。いつも変わらず、にじと風の活動をご支援賜りありがとうございます。

夏休みの報告を含めて、冬になる前にお話しさせていただきます。

にじと風は3か所で7つの事業をしています。放課後等デイが4カ所、生活介護が1か所、あとは居宅と相談、地域生活支援事業です。各々特色ある事業所で夏を過ごしました。

主にはやはり子供放課後活動です。子供たちはのびのび元気よく遊んでいます。一番新しいあかねいろの風は大きなトランポリンあり、ボールプールだけのお部屋があり、日によってはトンネルだらけになったり、室内砂場になります。(子供たちはいつでも職員の予測を超えてびっくりさせてくれます。) 待望の屋外での大きなプールでの水遊びも出来ました。近くの新しく出来た図書館へ行ったり、川縁を散策したり出来ます。

事業所によって、同じ子とは思えないほど大きな声で笑ったり、走り回ったり、リーダーになったりとても素敵です。

事業所間の交流や事業所の絆をなくさないために、いろんな企画をしました。夏は特別に子供の昼食は保護者とボランティアさんが中心に行いました。メニューを考え、2時間ほどで60食を作るのはとても大変なのですが、「おいしかったよ!」と言ってもらえるのがとても嬉しいです。親に負担にはなるのですが、自分の子だけではなく他の子も自然な形で見てもらえる事、職員の関わりも見てもらえる事、普段はなかなか出来ないことです。

また、同じ敷地内での成人の生活介護事業所が出来たことで、日常的に大人になったらこんな生活するんだと自然に見てもらえますし、遊んでいる中でお兄さんお姉さんが草取りをしたり子供は子供たち同士で楽しいことがあれば我慢をしたり譲り合ったり助け合ったりします。

少しお手伝いが必要なだけで、障害と言われるハンディのあるところを解きほぐして少し支えるだけで、とても一人一人が大切な子供たちです。

花浅葱夏の特別活動報告

花浅葱初めての夏。

暑さの中、自分たちで育てたプチトマトが美味しくて毎日収穫して毎日食べた。

野菜嫌いのMちゃんもトマト大好きMちゃんも。

今年の夏もさくらカフェ

「大人としてカッコいい後ろ姿を子供たちに見せたいその一心だった。

集客も前年越え、新作メニューのフレンチトーストは子供たちにも大人気でその後もおやつで提供中。

スーパー銭湯にじと風

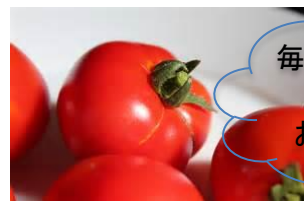
女湯は「あかねの湯」男湯は「花浅葱の湯」

子供たちに夏の思い出をと、裏方に徹した。

でも本当は僕もお風呂に入りたかった。

子供たちの夏休みに合わせて花浅葱も様々な体験をし子供たちの目標になりたい。

そんな思いが夏を一層濃くしたような気がする。



毎日山盛りのとまと
や
おくらを収穫しまし

「ひよこ宣言」

施設「にじと風」の開所式の際に、「ひよこ宣言」をつくった当事者たち、保護者、関係者の思いを生命ある私たちが継続していきたいと思えます。

エビナール那須にて (1999.7.18)

1. ずうっとこの町で暮りたい
友だちと一緒にいろんなことをしたい
自分のことは自分で決めたい、自分でやりたい
でも、どうしても出来ないことは手伝って下さい
2. 今日ここに私たちの新しい場所が出来ました
私たちは、ここに閉じこもることなく
ここを基地として
新しい一歩を踏み出すことを宣言します

